

EPA ENERGY STAR® 第三者認証制度に関するFAQ

1. **Q: ENERGY STAR の第三者認証要件は、いつ施行されるのか。**
A: 2011年1月1日。
2. **Q: 2011年1月1日より前に適合にした製品を、引き続き適合にしておくためには、新要件の発効後に再度試験しなければならないのか。**
A: 現行の適合製品については、引き続き適合にしておくために、再度試験する必要はない。ただし、多くの ENERGY STAR 製品区分に対し、基準の変更が、2011年または2012年早期に予定あるいは見込まれている。これら区分については、第三者認証を受けていない限り、基準変更の発効日以降、どの製品モデルも ENERGY STAR ラベルを表示することは認められない。EPA が基準変更を当面予定していない一部の製品区分については、製造事業者が、新規および既存の両方の製品を、EPA の認可を受けた CB を通じて検証試験用に提出することを、EPA は求める。
3. **Q: 認定された試験所を使用しなければならないか。**
A: はい。関連する試験方法について ISO/IEC 17025 の認定を受けている試験所において、ENERGY STAR に対し製品を試験することが義務づけられる。EPA は、第一者試験所が、[ENERGY STAR プログラムの認証機関の認可に関する条件と基準 \(Conditions and Criteria for Recognition of Certification Bodies for the ENERGY STAR Program\)](#) の付属資料 A に説明される ISO 17025 準拠の明示を含む、EPA の認可を受けた CB の監視付きまたは立ち会い付き製造事業者試験所 (SMTL/WMTL) プログラムに登録されている場合には、当該試験所で試験を実施できるという特例を設けている。
4. **Q: 2011年1月1日より前に適合になった製品群に、新たにモデルを追加する場合、EPA は、新たな第三者認証要件のもと、これら追加モデルについて試験を要求するのか。**
A: 現在製品群が定義され管理されている製品基準（すなわち、コンピュータ、サーバー、家庭用冷蔵庫・冷凍庫等）については、新たなモデルが適合製品群へのモデル追加に関する基準を満たしている場合、当該モデルを試験することなく追加することができる。ただし、パートナーは、適合製品情報届出書の提出またはオンライン製品届出ツールを通じて、適合製品群へのモデル追加を EPA に通知する必要がある。
5. **Q: EPA の認可を受けた AB、試験所、あるいは CB は、どのように機能するのか。**
A: 認可を取得するために各団体が満たさなければならない要件は、www.energystar.gov/testingandverification において入手可能である。
6. **Q: 新たな第三者認証要件のもと、ENERGY STAR パートナーは、どのように製品を適合にするのか。**
A: ENERGY STAR パートナーは、これまでは、希望の試験所で自社製品を試験し、適合に基づく審査を目的として、直接 EPA に製品データを提出することができた。今回の新たな要件のもとでは、パートナーは、EPA の認可を受けた希望の認証機関 (CB) によって、自社製品を認証してもらうことが義務づけられる。製品の認証後、CB は、当該製品が ENERGY STAR 要件を満たしていることをパートナーに通知し、ENERGY STAR ウェブサイト掲載用に、適合製品のデータを EPA に提出する。新規手続の詳細を説明する工程表 (フロー図) を参照すること。
7. **Q: EPA の認可を受けた認定機関 (AB)、試験所、または CB の一覧は、どこで見ることができるか。**
A: [EPA の認可を受けた認定機関 \(AB\)](#) の一覧。
[EPA の認可を受けた認証機関 \(CB\)](#) の一覧。
[EPA の認可を受けた試験所](#) の一覧。
EPA は引き続き認可申請を処理し、継続的にこれら一覧を更新する予定である。
8. **Q: 適合試験に第一者 (製造事業者所有の) 試験所を使用してよいのか。**
A: はい。第一者試験所が、EPA の認可を受けているか、あるいは監視または立ち会い付き試験プログラムに参加している限り、その試験所を使用することができる。第一者試験所に対する要件は、EPA の認可を受けた認証団体の監視または立ち会いを受けることである。EPA 認可を獲得するための試

験所に対する要件の詳細については、[ENERGY STARプログラムの試験所の認可に関する条件と基準 \(Conditions and Criteria for Recognition of Laboratories for the ENERGY STAR Program\)](#) を参照すること。監視付きまたは立ち会い付き製造事業者の試験所 (SMTL/WMTL) に関する詳細については、[ENERGY STARプログラムの認証機関の認可に関する条件と基準 \(Conditions and Criteria for Recognition of Certification Bodies for the ENERGY STAR Program\)](#) の付属資料Aを参照すること。

9. Q: EPA は、ENERGY STAR に関する製品の国際的な承認を継続するのか。

A: EPA は、現行の国際的な相互承認を支援する。ただし、米国に入ってくるすべての製品は、2011年1月1日に発効する EPA の第三者認証要件を満たさなければならない。

10. Q: いつから自社製品を ENERGY STAR 適合として販売開始してよいのか。

A: パートナーは、製品が ENERGY STAR 基準を満たしているという書面による通知を CB から受け取り次第、当該製品の ENERGY STAR 適合としての販売を開始することができる。唯一の例外は、これから参加するパートナーが最初に適合にする製品である。この場合、EPA は、パートナー申請の処理を完了し、新規の ENERGY STAR パートナーに対して、製品を ENERGY STAR 適合として販売するためのラベルと ENERGY STAR ロゴガイドライン (ENERGY STAR Identity Guidelines) を提供する必要がある。

11. Q: EPA は、認可の審査過程において、担当者を派遣し試験所を評価するのか。

A: EPA は、現地査察を実施しない予定である。その代わりに、貴団体が認定の取得を求める場合には、EPA の認可を受けた AB の職員が現場を査察する。貴団体が EPA の認可を受けた CB の監視付きまたは立ち会い付き製造事業者の試験所 (SMTL/WMTL) プログラムへの登録を求める場合は、当該 CB の職員が現場を査察する。

12. Q: 当試験所は、ENERGY STAR 適合を目的とした外部電源装置を試験している。なぜこの製品区分は、EPA の試験所認可申請書に記載されていないのか。

A: ENERGY STAR の外部電源装置、デジタル-アナログ変換器、および (エネスタ適合の外部電源装置を有する) 最終使用製品プログラムは、2010 年末に廃止される予定である。

13. Q: 要するに、自社製品を EPA の認可を受けた試験所で試験し、その結果を CB に送ればよいのか。

A: それだけではない。製造事業者は、EPA の認可を受けた CB に対して、製品機種や CB のプログラムの特性に基づき、どの試験所が試験の実施に適しているのかを確認しなければならない。

14. Q: 製品が認証された後でも、当該製品は、ラベル貼付される前に、EPA による審査が必要であるか。

A: 必要ない。EPA は、EPA の認可を受けた CB による認証を含めて、すべての ENERGY STAR 要件を満たす製品に対し、ENERGY STAR マークの使用をパートナーに認める。

15. Q: 自社製品のうち、どのくらいの数の製品が継続的な検証試験の対象になるのか。また、検証試験はどのくらいの頻度で実施されるのか。

A: CB は、毎年、自己が認証した製品の少なくとも 10% を、検証試験用を選択する責任を負う。これら製品の少なくとも半数は、無作為に選出される。このように、任意の年に検証試験の対象となる個別パートナーの製品数は、様々である。また CB は、製品選択の時期を決める権限を有しており、そのため検証試験は、CB や製品区分によって、四半期毎、半年毎、または年一回の計画で実施される可能性がある。

16. Q: 新たな第三者認証要件には、誰が出資するのか。

A: 新たな試験と検証の手続きは、パートナーの出資により行われる。パートナーは、試験所と CB に直接支払いをする。

17. Q: CB は、試験報告書の審査に、どのくらいの期間を要するのか。

A: 審査期間は製品区分や CB によって異なると、EPA は考えている。パートナーの製品導入周期への潜在的な影響を EPA が予測できるようにするために、CB には、EPA 認可申請要件の一部として、審査過程の詳細な説明を EPA に提供することが義務づけられている。EPA は、製品開発周期や市場投入時期に関するパートナーの懸念に適切に対応する期間内に、確実に認証が行われるように、CB と協力して取り組んでいる。

18. Q: 検証試験に第一者試験所を使用してよいか。

A: 製造工程から試験対象を入手する試験が唯一の実施可能な選択肢であるという、一部の希な事例においてのみ、検証試験を第一者試験所で実施することが許可される。検証試験用に選択された機器が製造施設の製造工程から入手される場合、資格要件を満たした CB 職員が試験に立ち会うという条件のもと、検証試験を EPA の認可を受けた第一者試験所で実施することができる。製造工程から試験対象を入手する試験方法は、極度に大型、高価、あるいは受注製造の製品に対する、単なる選択肢であると、EPA は考えている。

19. Q: 検証試験において、製品の不合格とはどのようなことであるか。

A: ENERGY STAR 製品は、ENERGY STAR 基準に説明される ENERGY STAR 要件を超える場合に、検証試験において不合格と見なされる。DOE の最低効率要件に関する質問については、DOE に問い合わせること。

20. Q: パートナーは、製品が引き続き ENERGY STAR 要件を満たす場合でも、製品の更新情報を提供する必要があるか。

A: 2011 年 1 月 1 日以降、パートナーは、認証された自社製品のエネルギー性能に影響する変更については、当該製品が引き続き ENERGY STAR 要件を満たすとしても、CB に通知しなければならない。CB は、追加試験データが必要かどうかを判断する。